＜ご参考＞

平成元年６月２７日
本田技研工業株式会社
広報部

本田宗一郎、日本人として初めて、米国の自動車殿堂入り決定

米国の自動車産業の殿堂である"Ａｕｔｏｍｏｔｉｖｅ　Ｈａｌｌ　ｏｆ　Ｆａｍｅ"（略称：ＡＨＦ　所在地：ミシガン州ミッドランド）は、本田技研工業（株）の創業者である本田宗一郎を、同殿堂に入れることを決定したと発表した。（現地６月２６日発表）殿堂入りのセレモニーは、１０月１０日にデトロイトにおいて行なわれる予定。

ＡＨＦは、自動車や自動車産業に貢献したひとびとに栄誉を与え、業績を残すため１９３９年に設立された。殿堂入りの授賞は、１９６７年より行なわれており、ヘンリー・フォードやウォルター・Ｐ．・クライスラー、アルフレッド・スローンをはじめとして、経営者、技術者、デザイナー、レーサー、ジャーナリストなど自動車に偉大な業績を残したひとびと８８人が、殿堂入りを果たしている。

殿堂入りの資格としては、人格に優れ、自動車産業に長期間携わり、成功を収めた人であるとともに、革新的な業績を残すことが必要とされる。

本田宗一郎は、日本人としてはじめて殿堂入りをする予定であり、１０月１０日に今年ノミネートされた他の３名とともにこの栄誉をあたえられる。なお、来年の春から、同殿堂において、彼の業績の記録がこれまでに殿堂入りしたひとびとと同様に、展示されることになる。

ＡＨＦの会長　Ｒｏｂｅｒｔ　Ｐ．　Ｍａｌｌｏｎ　は、
『３０年も経たないうちに、ミスターホンダは他の自動車メーカーと対等に競争できる会社を作り上げ、成功させた。』
『アメリカ人の輸入車に対する見方を変えさせ、さらにはアメリカ市場における輸入車の役割を永遠に変えるほどの良いクルマを、彼はつくった。』
とコメントしている。

以　上

自動車殿堂入りに関する本田最高顧問コメント

「　大変嬉しい。とても名誉なことと思っています。
私は、子供の頃から　自動車が大好きで　その後会社をつくって
やってきた。
その間、苦しみもありましたが、車をつくることは、また
楽しみでもありました。
　このたび、自動車の先進国アメリカの殿堂に
偉大な先輩達に混って入れてもらうとは、
本当に私は幸せ者だと思う。
　これも、一緒に仕事をやってきた若い人達や、力を貸して下さったり、
暖かく見守って下さった大勢の皆様方のお蔭だと感謝しております。
どうもありがとう。」

10.7.
殿堂建物

10.9.
フォードミュージアム

10.10
セレモニー

叙勲・表彰等の一覧

昭和２７年　４月　藍綬褒章を受章（小型エンジンの発明）
昭和４８年１２月　運輸省　交通文化賞　受賞（交通産業の振興に功績）
昭和５６年　４月　日本国　勲一等瑞宝章を受章
（自動車産業の発展に貢献、また、行政運営の円滑化に寄与）

昭和４７年１０月　アメリカ金属学会　名誉終身会員に選ばれる
（金属材料の研究開発に寄与）

昭和５５年１１月　アメリカ機械学会より、ホーリーメダルを受賞
（世界に経済的輸送を可能とする小型高速エンジンの開発）

昭和４６年　５月　イタリア政府より、メルクリオ・ドロ章を受章
（ヨーロッパの産業発展に貢献）
昭和５３年　１月　イタリア政府より、グランデ・ウフィチァーレ章を受章
（経済活動及び国際シンポジウムの積極的開催等で、日伊両国の友好に寄与した）

昭和５４年　５月　ベルギー王国より、王冠勲章コマンドール章を受章
（ベルギーの産業発展に貢献）
昭和６０年　４月　ベルギー王国より、王冠勲章グランド・オフィシェ章を受章
（ベルギーの経済・文化の発展に貢献、また、日本ベルギー協会会長として日白友好に寄与した）

昭和５５年　２月　スウェーデン国王より、北極星勲章ナイトコマンダー章を受章
（科学技術の発展と日瑞両国の学術交流に寄与）

昭和５５年　５月　フランス共和国より、芸術文化勲章オフィサー章を受章
（ディスカバリーズ活動により、日仏文化交流に寄与）
昭和５９年　３月　フランス共和国より、レジオン・ド・ヌール勲章オフィシェ章を受章（フランス産業界の発展に寄与、日仏経済・文化の交流に寄与）

本田宗一郎略歴

明治３９年１１月１７日：静岡県磐田郡光明村に生まれる
大正１１年　４月　　：アート商会（東京・自動車修理工場）入社、６年間勤務
昭和　３年　４月　　：独立して、浜松アート商会創設
昭和１２年　４月　　：浜松アート商会を東海精機重工業（株）に社名変更
　取締役社長就任　　ピストンリング製造を開始
昭和２０年　９月　　：同社　取締役社長を退任
昭和２１年１０月　　：本田技術研究所　設立、所長として内燃機関及び各種機械の
　製造並びに工作法の研究に従事する
昭和２３年　９月　　：本田技術研究所を継承し本田技研工業（株）設立、同社
　取締役社長に就任
昭和４８年１０月　　：同社　社長を退き、取締役最高顧問　就任
昭和４９年　９月　　：本田・藤沢両最高顧問の寄付により
　（財）国際交通安全学会設立
昭和５２年１２月　　：本田最高顧問・本田弁二郎氏の寄付により（財）本田財団設立
昭和５８年１０月　　：本田技研工業（株）　取締役　　退任
　終身の最高顧問となる

学歴

昭和１４年　３月　　：浜松高等工業学校機械科　２学年終了
昭和４８年１０月　　：上智大学より、名誉工学博士号を授与される
昭和４９年　５月　　：アメリカ、ミシガン工科大学より、名誉工学博士号を
　授与される
昭和５３年　４月　　：アメリカ、バブソン大学より、第一回最優秀企業家アカデミー
　会員に選ばれる
昭和５４年　６月　　：アメリカ、オハイオ州立大学より名誉人文学博士号を授与
　される
昭和５５年１２月　　：フランス、エクス・マルセイユ第３大学より、名誉工学博士号
　を授与される
昭和５９年　６月　　：イギリス、クランフィールド工科大学より、名誉工学博士号を
　授与される